

■日立市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第5回）

開催日時：令和2年2月12日（水）15：00～

開催場所：日立市役所 503・504 会議室

出席委員数：38名中27名

1 開 会

2 会長挨拶

○会 長： 本日、第5回の有識者会議となるが、これまで人口ビジョンに始まり、総合戦略の総論、各論と皆様のご意見を伺ってきた。本日は、各論の基本目標の4つの具体的な取組が入った資料が配られている。忌憚のないご意見をいただき、意見が出尽くせば本日で終了だが、必要ならばもう一度有識者会議を実施する。意見があれば、どんどん出していただきたい。

3 報告事項

(1) パブリックコメントの結果について

【質 疑】

○会 長： ご意見はいかがか。

※意見なし

4 議 事

(1) 第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

ア 具体的な取組

(7) 基本目標1

(イ) 基本目標2

(ウ) 基本目標3

(エ) 基本目標4

イ 数値目標及びKPI

事務局より、資料に基づき、各基本目標の主な取組及び数値目標、KPIについて説明した。

【質 疑】

ア 具体的な取組

(7) 基本目標1

○会 長： 経済基盤になるところが基本目標1。ご意見、ご質問があれば伺いたい。

○委 員： 1ページ、基本的方向(1)具体的施策②「空き店舗・遊休資産等を活用した創業等の促進」No.12の創業支援について、対応する市内創業比率が3.4%→3.5%という控えめの評価指標であるが、日立市の創業比率は全国、茨城県から見ても低い。少なくとも茨城県の4%程度を評価指標とすべきではないか。

○会 長： この後、KPIはまとめてご説明いただくが、いかがか。

- 事務局： 市内の事業所数の減少も見込んでいかなければならない。その中で創業比率を維持・上昇させるという観点から推計した数値であり、日立市の創業比率が全国、茨城県と比較して低い点も勘案している。
- 委員： 世の中が、创业者の地方移住を推進する流れになっている中、日立市の創業比率は低い。创业者を東京圏から呼び込むことをしていかなないと、地域の活性化は立ち行かなくなるのではないか。
- 会長： 市内創業比率の説明をお願いしたい。
- 事務局： 市内創業比率は、総事業所数を母数、新設の事業所数を分子として算出している。
- 会長： 分母が減ると、創業比率は増えるのではないか。
- 事務局： 事業所数の維持という視点もある。創業比率と事業所数の維持の双方から調整した数値を出している。
- 会長： この後、説明予定の資料2に関する内容のため、改めて伺いたい。
- 委員： 基本的方向(3)の「女性が活躍しやすい」という表現と、具体的な取組の内容が合致していないように感じる。もう少し女性が活躍しやすい「しごと」のキーワードがあるのではないか。医療、介護、子育てなどが活躍しやすい分野であって、AIやIoTについては将来的には重要だろうが、今後5年間の取組としてはもう少し幅があっても良いのではないか。
- 事務局： 医療、介護、保育などの雇用のミスマッチ解消は、他の項目で挙げている。女性の求めるしごとは、事務職等の総務的なものという調査結果が出ている。企業誘致に加えて新分野でしごとを創出し、女性に魅力的なしごとを提供するという新たな視点として挙げさせていただいた。具体的施策①は新分野に新しい雇用の機会を求めるという視点であり、具体的施策②は地元中小企業において女性の活躍の場の確保を進めるという視点である。
- 会長： 女性が求める職業は事務職やサービス業等であり、女性だからAI、IoTというわけでない。しかし、AI、IoTなどの成長産業に関わる企業を誘致すれば、現在の女性のしごとニーズとのミスマッチの改善が図られるという考えである。
- 委員： それならば、女性が求めるニーズの職業分野がキーワードとして入れれば、分かりやすくなると思う。
- 委員： しごとや環境を整えることも大事だが、心と体のバランスや家庭としごとのバランスがとれないこともある。しごとだけを充実すれば良いということだけでなく、メンタルトレーニングなどのケアを受け止める部分も必要と考える。
- 事務局： 基本目標3の具体的施策②「ワーク・ライフ・バランスの実現と働き方改革の促進」で入れ込んでいる。
- 会長： では、基本目標3で改めて確認することとする。

(4) 基本目標2

- 会長： 転入促進・転出抑制に向けた、住環境の整備等を対象とした分野である。ご意見ご質問があれば伺いたい。
- 委員： 4ページの具体的施策②「魅力的な住環境を形成するコンパクトシティの推進」No.58の取組については、住宅地整備の実績が出ていない中、単なる継続で良いのか。更に推進するのであれば、取組内容を拡充していくべきと考える。現在の見立てを伺いたい。

- 委員： この事業は今年度新規で立ち上げたものであり、開発行為が条件で、区画の面積要件を240㎡で設定しているが、今後は区画の面積要件を緩和する方向で検討している。
- 委員： 制度の利用者となる事業者が魅力を感じる要素を加えて、見直しを図ることも必要だと考えるので、意見として挙げさせていただいた。
- 委員： 基本的方向(3)具体的施策②「自然環境・スポーツ・文化・イベント等を通じた交流人口の拡大」No.84 ジャイアントパンダの誘致活動について、周辺施設の整備は進んでいるのか。道路を含め、周辺の観光スポット等の整備状況を伺いたい。
- 委員： ジャイアントパンダ誘致活動は、茨城県と連携して取り組んでおり、現在は機運醸成を図るといことで、施策を練っているところである。具体的なインフラ整備等はこれから誘致活動の状況に応じて対応していきたいと考えている。現在はかみね公園の全体の活性化を検討しているところである。
- 委員： 現在策定中のかみね公園の活性化に関する計画と総合戦略との整合性・連動性は図られているか。
- 委員： 総合戦略では、交流人口拡大という大きな方向に向けた取組の一つとしてジャイアントパンダの誘致活動を挙げており、施策の大きな方向は整合がとれている。どのような形でパンダを受け入れるのかといった詳細な取組については、別途策定中のかみね公園の活性化に関する計画の中で年次計画、個別計画と進んでいく予定である。
- 委員： 基本的方向(1)具体的施策①「子育て世代の住宅購入促進・賃貸住宅の再生・活用の促進に向けた支援の充実」No.53の住宅助成に関して、2世帯住宅加算についても独自の政策を打ち出している。ひたらしい特色ある取組なのでキーワードとして載せてはどうか。
- 事務局： 現在は近居も補助対象になっている。2世帯住宅の件は反映を検討させていただく。
- 会長： 子育て世代にとっても2世帯住宅に対する補助は魅力的なので、どこかに掲載をお願いしたい。

(ウ) 基本目標3

- 委員： 基本的方向(3)具体的施策①「次世代を担う力を磨き高める教育の推進」No.25に新規の取組として「ひたちこどもエコクラブ」の創設とあるが、既にあるのではないかと。子どもが子ども会に入っている時に、エコクラブということで鮭の放流などを小学校でやっていた。日立市ではなく、茨城県か何かの取組だったのか。
また、参加する人がいないために子ども会が減少している中で創設して、人が集まるのかという懸念がある。
- 委員： エコクラブは、これまでに親子で環境を探るイベントや野鳥観察会等に参加した親子のうち、子どもたちだけを市内から集めて、少年団形式で年間を通じて自然やエコの観点で取組を進めるという新たな事業である。
人が集まるかという懸念については、これまでの様々な取組の実績を踏まえて、実施に移してみようというものであり、ある程度の見込みがある。
- 委員： 特色ある教育は、日立市の最優先課題だと考えている。スポーツ少年団や文化少年団などは地域の人の力で進められてきたもので、次世代が育っていく大きな取組であり、日立市の教育の宝であると考え。事務局ではどのように捉えているのか。

- 事務局： 総合戦略自体のテーマが人口であることから、巢立っていった若者に郷土愛をもって戻ってきていただくのが主意である。既存の事業に優良な事業が多数あるのは認識している。7ページ基本的方向(3)具体的施策②「将来の地域を支える人材を育成するふるさと教育の推進」は、郷土愛を強く誘うという視点で絞って挙げている。具体的な取組への記載を検討させていただく。
- 委員： 基本的方向(2)具体的施策③「子どもを地域全体で支える環境づくりの推進」No.119の「子ども食堂」は、主に放課後を想定していると思われるが、小学校の近くで朝ごはんを提供することも検討していただきたい。
- 委員： 現在は放課後を想定している。朝ごはんの提供は、今後の課題として捉えている。
- 委員： 基本的方向(1)具体的施策①「若者の出会い・結婚応援」No.94で、若者が主体となって組織を設立することや若者の交流拠点の整備が具体的に書いてある。若者の出会い、結婚は生活環境部や保健福祉部でそれぞれ取り組んでいるが、どのように連携していくかが重要だと考える。縦割り行政でなく、横の連携が取れる組織にしていきたい。結婚のためには出会いが必要で、重要な部分だと考えるので、よろしくお願ひしたい。
- 会長： 重要なお指摘である。具体的には、どのような部署がどのような組織で行うのか。
- 委員： 生活環境部が所管する取組としては、「ラグビー応援プロジェクト」やサンタクロースの格好をして日立総合病院を慰問する「サンタ de チャリティウォーク」等のイベントを行っている。イベントを主催しているのは、市の若手職員や企業の若手社員などで構成した若者交流委員会である。
- 会長： 生活環境部と若者たちは密になっていくと思うが、庁内の横の連携はあるのか。
- 委員： 担当課内にひたち出会い応援協議会を設置しており、いばらき出会いサポートセンター等の関係団体と協力し、出会い応援のイベント開催や情報交換を行っている。
- 会長： 先程意見があった働く女性に対するメンタルケアについては、どこに出てくるのか。
- 事務局： 7ページの基本的方向(2)具体的施策②「ワーク・ライフ・バランスの実現と働き方改革の促進」は、結婚されている、されていないにかかわらず、女性という切り口で整理している。
- 会長： 「結婚・出産・子育て関係なく」、といった分かりやすい表現が必要ではないかと考える。結婚していない人の受け入れ体制も整えていただきたい。
- 事務局： これまでも市の労働政策の中で支援しているところであるが、文言の整理の中で対応させていただきたい。

(I) 基本目標4

- 会長： まちの安心・安全、魅力の部分である。ご意見をいただきたい。
- 委員： 9ページ基本的施策(2)具体的施策①「ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり」No.147で地域のボランティア団体の活動支援とあるが、これはボランティア団体のみが対象なのか。ボランティア団体以外にも健康づくりなどに取り組むNPO法人等との連携も検討してはどうか。
- 委員： 現状は継続的に活動しているボランティア団体を想定した内容となっているが、企業やNPO法人との連携についても、検討していきたいと考える。

- 委員： 基本的方向(2) 具体的施策①「ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり」No.149の「高齢者の外出支援」について、今後5年間はバスとタクシーの利用助成に特化していくのか。その他の選択肢も検討していくような表現にしていきたい。
- 委員： 現時点ではバス、タクシーの利用助成を想定しているが、今後検討していくので、表現を考えさせていただく。
- 会長： そのほか、全体的なお話でも良いので、ご意見をいただきたい。
- 委員： 5ページ基本的方向(2) 具体的施策①「新たなまちの魅力の創出と効果的な情報発信」No.74のSNSの更なる活用について、具体的な内容を伺いたい。
- 事務局： SNSについては、既にホームページ、フェイスブック、ツイッター等で情報を提供しているが、インフルエンサー(多くの人に影響を与える情報発信者)の活用等も含めて、より伝わりやすい情報発信に取り組んでいきたいと考えている。
- 委員： 子育て中の方から、子育て情報誌が置いてある場所などを聞かれることもあるので、より一層、情報発信の充実を図っていただきたい。
現在取り組んでいる予防接種らくらくスケジューラーで様々な情報を発信しているが、その中に子育て情報誌に関する情報を入れていただくなど、子育て世代のニーズに沿った情報提供に取り組んでいただきたい。
- 委員： 150項目の取組それぞれが重要と考えるが、一つか二つ、重点的なものを挙げてはどうか。例えば、基本目標3 基本的方向(1) 具体的施策③「ライフステージに応じた各種子育て支援」No.109は給食費の負担軽減だけでなく、「日本一おいしい給食を提供する」など目玉となるような取組を検討してはどうか。
もう一つ、基本目標1 基本的方向(2) 具体的施策①「若者の雇用・地域経済の拡大につながる企業誘致の促進」について、企業はリスク分散の観点から、地方移転のニーズがある。経済的合理性があれば来ると考えるので、徹底的に企業誘致にも取り組んでいただきたい。
- 会長： 第1期の総合戦略は、子育て支援が前面に出ていた。子育て支援であれば、すべての世代ではなく、若い人に重点を置くというメッセージ性があり、それに賛同が得られた。今回も一つ一つは小粒かもしれないが、「子育てするなら日立市で！」を前面に出していただきたい。
「日本一おいしい給食」などは分かりやすい目標だと考える。ほかの自治体では実施していないことを取り入れていくのは、非常に良いことだと考える。

イ 数値目標及びKPI

- 会長： 市内創業比率については、少なくとも茨城県平均の4%程度にした方が良いとのご意見があった。この評価指標には2つの視点があり、一つは現在の事業者を減らさないこと、加えて、新たに創業する方々を増やすということである。2つの視点を創業比率だけで計るのは難しい。市内創業比率は高目に設定し、別に事業者の減をいかに食いとめるかという評価指標が必要ではないか。
- 事務局： 創業比率のほか、KPIとして事業所数等を設定している。
- 会長： 分母となる事業所数の増減に左右されないように、創業件数をKPIとしてはどうか。
- 事務局： 内容を検討させていただく。

- 委員：若い世代の方に定住してもらうためには、しごとと住まいが大きな課題であることから、その2つに関わる数値目標やK P Iの目標値や評価指標を高く設定し、それに向かって頑張る姿勢を表すことが重要と考える。見直しをお願いしたい。
- 会長：もっと高く設定できる評価指標は見直していただく。住みやすさや安全・安心、まちの魅力度などの市民の実感を図る項目が、最終的に上げていかなければならないアウトカムであり、評価指標を高く設定することを改めて検討していただきたい。
- 副会長：第2期総合戦略をこれから実際に取り組んでいくことになるが、地域創生推進課は推進責任者としてK P Iによる評価だけでなく、数値に表れない具体的な取組の進捗状況を管理していただき、取組をフォローしてほしい。
- 会長：それでは、本日をもって有識者会議を終了としてよろしいか。今後、評価委員会も立ち上がるので、そちらに委ねるということではいかがか。

※異議なし

5 その他

事務局より、皆さまからの意見を踏まえて総合戦略をまとめ、完成した冊子を各委員に送付させていただく旨、報告があった。

6 閉会

以 上